

# 私たちがキリストの奥義を語れるように、祈ってください。

イザヤ51:1

## 2014(26)年 週 報

8月31日  
第5聖日  
3367号

「パウロたちの誇り」  
( I テサロニク連続講演第20回)

### 聖言

それゆえ私たちは、神の諸教会の間で、あなたがたがすべての迫害と患難とに耐えながらその従順と信仰とを保っていることを、誇りとしています。  
テサロニケⅡ 1 : 4

礼拝の恵み⑬ 第一章  
第六部 礼拝のための力  
礼拝のための力は神の第三位、聖霊である。  
第二節 聖霊のみわざ  
(七) 礼拝との関係  
礼拝に関する神の働きは御言葉を通して個々の信者を導き、父と子への理解と尊敬とをますます増大することである。それゆえに、クリスチャン各自が聖書の読者であり研究者であることが必要である。聖霊は神の言葉に反して信じさせようとしたり、行わせようとしたりすることは、決してしない。信者が御言葉を通して御霊に教えられる時、御霊は信者を導いて、神の事柄をさらに深く知るようにし、ことに礼拝に関する知識を増大する。礼拝がなによりも第一に個人的な事ガラであることを学んだ。礼拝は集まりの時に示す為にしまっておくようなものではなくて、信者の魂から絶えず、毎日毎日、子に現わされている神の本質と御業とを理解するままに、天にのぼるべきものである。このような霊的状态にある信者の仲間が一つの集会として集まるとき、そこになんという大きな霊に導かれた礼拝が生じることであろう。ある数の信者が聖書的な仕方ですイエスを記念するために集まる時に、特に、御霊の導きがあきらかになる。この聖なる天の客人のはっきりした導きはそれがこの信者、あの信者を感動して賛美歌を歌わせたり礼拝に導いたり聖書のある箇所を読ませたりするときに、それによって明らかにすることができ。どの賛美歌も、どの言葉も、その集まりの特別の題目と完全に一致している。

〔礼拝〕 A P ギブス著

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話 : F A X (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru\_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一四年八月二四日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「霊、たましい、からだの完全な守り」

(「テサロニク」連続講演第一九回)

「平和の神ご自身が、あなたがたを全く聖なるものとしてくださいますように。主イエス・キリストの来臨の時、責められるところのないように、あなたがたの霊、たましい、からだを完全に守られますように。」(テサロニケ「五ノ二三」)

神が人間の全存在、全人格にまで及ぶ完全な守り手であり、救い主であるという幸いな約束を深く覚えたい。

クリスチャンは天国にいけるから精神的に病み、体も病んでも感謝すべきです。しかし、神様は霊もたましいも守ってあげますといっておられます。です。動物も感情はあるが、霊とたましいは人間にしかないところしかし、病んでいる心を癒してくださる神様に持つていけることが出来るのです。たましい、こころは人間の中心であり、霊は神と交わる大切なところでは

霊は非物質的無形的存在である霊は旧約では(へ)ルーアハ息をする、吹くに由来する。ギリシャ語ではプニューマで息、風の用法以外は、ほとんどが神、人、他の被造物の霊として用いる。神様はアダムを土から創造され、鼻にルーアハを吹き込み生ける者となったのです。人間に神の霊が吹き込まれたのです。信仰により、イエス様の十字架の贖いを受け入れられるものにはたましいと霊があることがわかる。そして悪魔から守ってください

る。完璧な守りである。ある人は体の健康だけを考えて他の者を疎かにしている。心と精神と思いをつくして神に仕える。霊と真をもって神につかえる。これおろそかにすると体も損なう。先ず第一は礼拝にきて三つの祝福を祈る。見えない神のまえに聖となる。再臨のまえに三つを整えられる。なぜなら再臨のときは今は隠されている内的な霊とたましいが現れてくるのです。

二〇一四年八月二七日午後七時 祈祷会 山本牧師

「捕囚と荒廢の預言」(エゼキエル連続一九回)

「人の子よ。あなたは反逆の家の中にすんでいる。彼らは反逆のいえだから、見る目があるのに見ず、聞く耳があるのに聞こうとしない。」(エゼキエル「二ノ二」)

一、一ノ一六 捕囚の荷物をまとめ、運び出すことによる象徴的預言

二、一七ノ二〇 震えながらパンを食べ、水をのむことによる象徴的預言

三、二一ノ二八 この預言は延期されず、速やかに成就する

反逆の家とはここではバビロンのユダヤ人のことである。彼らは捕囚と言う目にあつたにもかかわらず、なおエルサレムの住民とおなじように、捕囚は直ぐ終わり、間もなくエルサレムに帰れるという幻想を抱いていた。エルサレムの滅亡に関する預言を無視し、あくまでもエルサレムの不滅を信じていた。そのようなバビロンのユダヤ人にエルサレムは不滅でないことを教えるために、主はエゼキエルに象徴的な行為を命じられた。

神様はどれだけ論しても分からない民に対して預言者を用いてみ言葉とともに象徴的行為、パフォーマンスにより危機的状況を悟らせようとしておられる。イスラエルは王から民まで悔い改めなかつたのでエゼキエルの預言とパフォーマンスのごとくに王から民にいたるまでバビロンに捕囚の民として無残な姿で引かれて行つた。エルサレムの住民がいかに主のみことばを軽視していたかを表している。それが彼らの樂觀主義と不信仰の原因であつた。聖書の言葉に対する信頼の欠如ほど、信仰の現実性を薄くし、教会を弱めるものはない。聖書のみ言葉は絶対誤りはなく、その通りになる確信こそ、教会がこの世にあり権威と力をもって福音を宣下伝える原点である。

(鷹取裕成著「エゼキエル書」参考)

## 九月行事計画

四日(木)	納骨堂掃除	午前10時
五日(金)	楽しい月一回の折り	午後1時
七日(日)	ヨベル約束献金日	礼拝後役員会
一五日(月)	兵庫キリスト青年集会	午後1時 県民会館
一八日(木)	榎原家集会	午後2時
二二日(月)	兵庫宣教会	午後1時半 明石人丸教会
二三日(火)	教団牧師会	
二九日(月)	説教塾	午前11時 神港教会
三〇日(火)	兵庫リバイバル牧師会	午後1時 東部教会

※九月会計役員 尾瀬姉 小段姉 大内姉

九月の召天会員

一日	新福	勇兄	三五周年
二日	山川	早女姉	二八周年
三日	村山	鶴子姉	二六周年
七日	村山	千代子姉	六九周年
一〇日	藤原	しか姉	六七周年
十一日	西原	次郎兄	四八周年
十二日	仲里	俊姉	四七周年
十五日	森	勘太郎兄	七二周年
十五日	砂川	好秋兄	五七周年
二二日	北田	やゑ姉	八〇周年
二二日	高橋	葉子姉	三〇周年
二二日	松原	善子姉	一四周年
二三日	片山	ヨシノ姉	三二周年
二六日	杉山	シゲ姉	六〇周年
二七日	守屋	幹二兄	一三周年

二七日 魚住 忠功兄 一周年  
 二八日 桑田 庫三兄 八三周年  
 三〇日 守屋 郁恵姉 七三周年  
 三〇日 野崎 年恵姉 五五周年

※召天会員の遺族の方は、納骨堂周辺の掃除をお願いします

## ゴスペルコンサート

一〇月一三日(月)祝日 昼一時

- 一、司会 山本 稔牧師
  - 二、賛美 和歌山福音教会 村林かなえ牧師
  - 三、信仰の体験 尾瀬姉
  - 四、話し 岡山聖成キリスト教会牧師 足達 和章
- 集会行進案内

- 食事 午後四時〜午後五時  
 行進 午後五時〜午後六時前  
 行進コース 教会↓長田神社↓長田商店街↓高速長田駅前  
 外の司会 山本牧師  
 外の証し 西田潔嗣牧師  
 一〇月一三日(月)祝日 夕六時
- 一、司会 足達 和章牧師
  - 二、賛美 和歌山福音教会 村林かなえ牧師
  - 三、信仰の体験
  - 四、話し イエス・キリスト聖成伝道教会牧師 山本 稔師